

平成 27 年 度

事業報告書

社会福祉法人

猪名川町社会福祉協議会

目 次

1. 総括	1 ページ
2. 諸活動報告	
1) 諸会議	2 ページ
2) 地域福祉活動	4 ページ
3) ボランティア活動	7 ページ
4) 障がい者（児）福祉活動	11 ページ
5) 高齢者福祉活動	17 ページ
6) 福祉教育活動	25 ページ
7) 広報・啓発活動	28 ページ
8) 自主財源活動	28 ページ
9) 団体事務局の運営	31 ページ
10) 総合福祉センター管理運営等	31 ページ
社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況	34 ページ

平成 27 年度 猪名川町社会福祉協議会 事業報告

1. 総 括

近年、急速な高齢化の進展、世帯構造の変化、人間関係の希薄化の中、地域においては様々な課題を抱え、支援を必要とする人々が増加しています。認知症高齢者をはじめ、精神疾患を患った方やその家族への支援、子供の貧困、高齢者・障がい者・児童への虐待問題等は社会全体で取り組むべき課題となっています。また経済的貧困とともにひきこもりや介護等の複合的な課題を抱え、地域で孤立している世帯も増えています。

こうした様々な課題を抱えた人々を支援するため、平成 27 年 4 月施行の生活困窮者自立支援法が始まり、自立相談支援事業者や町・県民局と連携を図りながら、特に社協においては善意銀行や生活福祉資金貸付相談、食糧支援等からアプローチし困窮世帯への自立支援に向けて取り組みました。

また 2025 年問題を見据えた「地域包括ケアシステム」構築のため、今年度より「生活支援コーディネーター」を配置し、町や地域包括支援センター等、地域の多様な機関・団体と協議し、地域での高齢者への生活支援・介護予防体制づくりに向けて啓発活動等を行いました。

加えて、今年度より民生委員児童委員協議会事務局を町から社協に移管し、最も身近で地域福祉活動を展開されている民生委員・児童委員と福祉委員が連携して「地域でのさりげない見守り活動」もスタートしました。今後、社協と民生委員児童委員協議会は地域福祉推進の両輪として健全な発展に向けて連携強化に努めてまいります。

また、障がい者福祉サービスにおいては、障害者（児）計画相談支援や相談支援、就労支援、多機能型事業所「すばる」や地域活動支援センターの運営、訪問介護・移動支援・日中一時利用・障害児療育支援など障害者総合支援法に係る様々な事業を実施し支援する傍ら、地域福祉活動の一環である“ふれあい運動会”や“ふれあいバスツアー”、イナワイ等の活動にも引き続き取り組み障害者交流啓発活動を実施しました。

一方、介護保険事業現場では、常態化した人材不足が生じており、退職した職員の補充も進まない状況の中、人材確保面で大きな課題が残る 1 年となりました。今後職員に対する処遇改善や職員研修など人材定着に向けた取り組みによって、風通しのよい働き甲斐のある職場づくりに注力してまいります。

法人全体の事業収支では、今年度は収入総額 455,597,435 円（対前年度 100.14%）、支出総額 439,568,062 円（対前年度 98.15%）となり、差引額 16,029,373 円の黒字となりました。

平成 25 年度から毎年、収支改善がみられておりますが、今後も引き続き財政基盤を安定させるとともに、人材確保等サービス支援の向上と安定供給に努めてまいります。

以下、ここに平成 27 年度における本会の諸活動について報告致します。

2. 諸活動報告

1) 諸 会 議

◎理事会開催状況

(理事定数 11 名)

年月日	会議名	場 所	内 容	
27. 4. 23	理事会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号	評議員の選任について
27. 5. 21	理事会 (2 回)	総合福祉センター	議案第 2 号 議案第 3 号 議案第 4 号	評議員の選任について 平成 26 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 平成 26 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について
27. 9. 15	理事会 (3 回)	総合福祉センター	議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号 議案第 8 号	猪名川町社会福祉協議会経理規程の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会特定個人情報取扱規程について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会多機能型事業所「希望の家すばる」運営規程（生活介護、就労継続支援 B 型）の一部改正について
28. 1. 28	理事会 (4 回)	総合福祉センター	議案第 9 号	平成 27 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算（第 1 号）について
28. 3. 22	理事会 (5 回)	総合福祉センター	議案第 10 号 議案第 11 号 議案第 12 号 議案第 13 号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会会長専決規程の制定について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会ゆうあいデイサービスセンター指定通所介護事業運営規程等の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会臨時職員の雇用に関する要綱の一部改正について 平成 28 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の事業計画について

			議案第 14 号	平成 28 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の収入支出予算について
--	--	--	----------	--------------------------------------

◎監事会開催状況

(監事定数 2 名)

年月日	会議名	場 所	内 容	
27. 5. 18	監査	総合福祉センター	平成 26 年度収入支出決算監査	

◎評議員会開催状況

(評議員定数 23 名)

年月日	会議名	場 所	内 容	
27. 5. 28	評議員 会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 議案第 2 号 議案第 3 号	理事及び監事の選任について 平成 26 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 平成 26 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について
28. 2. 4	評議員 会 (2 回)	総合福祉センター	議案第 4 号	平成 27 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第 1 号)について
28. 3. 29	評議員 会 (3 回)	総合福祉センター	議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号 議案第 8 号 議案第 9 号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会会長専決規程の制定について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会ゆうあいデイサービスセンター指定通所介護事業運営規程等の一部改正について 平成 28 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の事業計画について 平成 28 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の収入支出予算について 理事の選任について

◎兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会

年月日	会議名	場 所	内 容	
27. 4. 23	委員会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 議案第 2 号	平成 26 年度赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金活動報告について 平成 26 年度一般会計及び特別会計決算について

			その他	共同募金委員会監事の選任について
27.9.15	委員会 (2回)	総合福祉センター	議案第3号 議案第4号	平成27年度共同募金運動の実施計画について 平成27年度一般会計及び特別会計予算について

◎地域福祉推進計画評価委員会

地域福祉推進計画に基づいて実施している事業について、住民の立場や専門的な視点から評価を行い、計画の確実、効果的な推進を図ることを目的として、評価委員会を開催しました。

第6次地域福祉推進計画策定後、1年が経過し、今年度における各事業の評価、現状と課題（評価）及び次年度の目標について報告を行うとともに、委員の方々より地域の課題について協議、意見交換を行いました。次年度以降及4年間の活動の基本方針、数値目標、取組内容の一部見直しを行いました。

2) 地域福祉活動

①福祉委員活動

福祉委員制度は、最も身近な地域で福祉的課題に「気づく」「受け止める」「つなげる」「伝える」役割として、各地域で住民主体の福祉活動を進め、地域の福祉力を高めていくことを目的として設置されたもので、本年度もその活動の推進・支援に努めました。

◆福祉委員会全体会議の開催

《計2回：5月23日（土）56名参加・11月14日（土）51名参加》



福祉委員会全体会の様子

◆役員会の開催（計5回：5月16日・7月4日・9月5日・12月5日・2月6日）

◆健康福祉まつり出展に向けての検討会

福祉委員会主催の福祉用具展示会から健康福祉まつり出展に向けて検討会を開催しました。（計2回：1月16日・3月26日）

◆小地域福祉組織化活動

地区（校区）福祉委員会では、それぞれの地域特性にあわせた福祉啓発活動、地域ふれあい交流活動、在宅福祉援助活動などに取り組みました。

○主な活動内容

地区（校区）	主な活動内容
内馬場・伏見台地区	お花見会（民生委員・児童委員と共催）、映画会（年4回）、福祉落語会、歌声サロン（年4回）等
原・松尾台地区	ふれあいひろば（年3回）、自治会・民生委員・児童委員との交流会等
阿古谷地区	ふれあい交流会（夏祭り、カラオケの集い、うどんづくり教室、出前寄席、健康講座等）、サロン活動等
猪名川小校区	若葉いこいの家の運営ボランティア（子育てほっとスペース、手芸サークル、クリスマスコンサート等）、健康教室（チェアトレとサロン）、むつみ会の運営サポート、サマーフェスタ、秋祭り、しめ縄と餅つき、世代交流等
つつじが丘小校区	夏祭り、ふれあいサロン（ラテン音楽、落語鑑賞会、懇談会） いこいの会（お花見、夏祭り、おしゃべり会、秋のスペシャル、餅つき大会、かるた会、ひな祭り等：猪名川台）、カフェサテの開催（お花見、そば道場、ギターコンサート、講座等：差組）、花の訪問等
白金小校区	『ほっとサロン絆』（月1回）、土曜サロン（年4回）、健康講座、福祉委員研修（施設見学）、善意の傘のメンテ等
楊津小校区	グラウンドゴルフ大会、楊津夏祭り、民生委員・児童委員との連携・交流会等
大島小校区	トレイルランでの協力（餅つき他）、自治会内住民個別訪問、独居老人との対話、民生委員・児童委員との連携・交流会

◆行事・イベント等への参加

健康福祉まつり、障害者ふれあい運動会、社協会員会費、共同募金など社協事業・活動への協力。

②ふれあい弁当サービス

ひとり暮らし高齢者及び高齢者夫婦世帯等を対象に、安否確認や食生活充実を目的として、毎週水曜日に昼食（利用料金は1食500円）を配食しました。

今年度は、ケアマネ連絡会やサービス事業所への周知活動も実施しましたが、昨年度よりも新規の利用者が少なく、年末から利用者の体調不良による入院等も重なり、実績としては1,877食/49日（昨年度2,123食/50日）の実施となりました。また、毎月1回のおたより「お弁当だより（翌月の献立表も掲載）約480部/年」の発行や利用者対象にアンケートの実施や事業啓発を実施しました。ひとり暮らしの高齢者が年々増加する中、今後もこの事業を通して安否確認や地域とのつながりづくりに努めます。

◆ふれあい弁当別配食実績表

(単位：食)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
27年度	168	119	169	214	129	166	164	168	117	114	154	195	1,877
1回あたりの 平均配食数	42	41	42	42	43	41	41	42	39	38	38	39	40
26年度	206	158	165	217	131	188	231	191	178	161	128	169	2,123
1回あたりの 平均配食数	41	39	41	43	43	47	46	47	44	40	42	42	42

③福祉相談活動

◆生活福祉資金貸付事業

生活困窮世帯の方々に低金利で資金を貸付けする事業で、相談支援を通じて経済的自立を図るとともに、在宅福祉の推進と社会参加促進を図り、地域で安定した生活を送れることを目的とした貸付事業です。

今年度の相談は延べ22件で、そのうち6件が総合支援資金、16件が生活福祉資金の相談を受け、緊急小口資金等貸付に至ったケースはありませんでした。今年度は数年前から相談を受けていたケースの再相談開始や、生活保護受給の方、自己破産申請中の方への支援等がありました。また、様々な他制度（フードバンク、生活保護、ワーカーズコープ、善意銀行）につないだケースもありました。

◆心配ごと相談の運営

民生委員児童委員協議会に委託して実施しており、総合福祉センター、木津総合会館及び日生公民館において、原則毎月3回火曜日の午前10時から12時まで民生委員・児童委員が輪番で相談を受けています。今年度の相談件数は3件でした。昨年度は5件でした。

④日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

判断能力が十分でない方（認知症高齢者・精神障害者・知的障害者等）が、地域で安心して生活ができるように福祉サービス利用への援助（情報提供・利用手続きの援助、利用料の支払等）や日常の金銭管理（生活費の引出し、預金通帳・印鑑の預かり）等の支援内容を定め契約し、派遣される「生活支援員」により自立した生活支援を行うことを目的とし、平成12年度より実施しています。

今年度は28件の相談がありましたが、結果として利用件数はありませんでした。同居家族が管理されている、若しくは成年後見制度の申請が妥当であった、本事業で管理できる財産規模でない等の理由により利用に至りませんでした。

- ・生活支援員の研修会参加
- ・社協だよりでの広報（平成28年3月1日号）
- ・福祉委員会、ケアマネジャーの会議等での事業説明

・相談

⑤福祉用具の貸出事業

平成5年度より、町内在住で福祉用具を必要とする方に、善意銀行に寄付があった福祉用具（車イスや歩行器等）を基本6カ月以内無料（一部物品搬出料の負担あり）で貸出を実施しています。車椅子の貸し出しについては若干増加しましたが、全体としては昨年度と比較すると減少となりました。（単位：件）

貸出器具	車イス	介護用 ベッド	ポータブル トイレ	歩行器	その他 (杖・入浴関連他)	合計
27年度	71	3	20	7	18	119
26年度	67	2	23	13	47	152

⑥手作りおもちゃの貸出事業

「おもちゃ図書館」では、ボランティアが製作した布や木の手作りおもちゃを、地域の団体や子育て支援グループ・個人への貸出しを行いました。PR不足により貸出件数は伸び悩みましたが、定期的に利用されている団体もありました。今年度は、貸出し回数の多いおもちゃの修理やリメイクを行いました。

今年度貸出し件数 24件（昨年度…36件）



3) ボランティア活動

①ボランティア活動センターの運営

◆兵庫県ボランティア・市民活動災害共済の取扱い件数は119件、加入者数は1,378名でした（昨年度126件・1,274名）。その内、【天災危険補償プラン】の取扱い件数は6件、加入者数は12名でした。

◆ボランティアグループ連絡会では、8グループの代表者により、ボランティア活動に関する連絡調整・企画検討などを今年度は2回開催しました。

◆猪名川町ボランティア活動センター運営委員会では、ボランティア活動センターの円滑な運営を図るために、運営委員会を設けており、5名の委員（ボランティア関係・福祉委員・当事者団体・関係行政機関・社協理事）で構成されています。今年度は1回開催し、ボランティア活動センターの事業について協議しました。

◆ボランティアに関する相談受付処理状況

(単位：件)

内容	ボランティア活動希望	ボランティアの依頼	人材に関する相談	資機材に関する相談	資金に関する相談	組織運営に関する相談	事業運営に関する相談	その他法人設立に関する相談	その他	合計	昨年度実績
一般住民	33	4	0	0	0	0	0	0	2	39	43
ボランティア・市民活動団体	7	0	3	30	19	3	34	0	1	97	79
福祉施設・病院	0	801	2	0	0	1	0	0	0	804	710
行政機関	0	23	0	0	6	0	2	0	1	32	24
社協	0	171	1	0	1	0	0	0	0	173	150
福祉団体	0	72	0	0	0	0	1	0	0	73	49
学校・教育機関	10	16	19	11	3	0	0	0	1	60	45
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	50	1087	25	41	29	4	37	0	5	1278	1102

ボランティアの活動延べ人数は、2,162名となり、依頼者ごとの主な活動内容は、以下のとおりです。

一般住民	パソコンの学習、傾聴活動等
福祉施設・病院	話相手(傾聴)、活動や作業の手伝い、演奏披露、行事手伝い等
行政機関	講演会等での情報保障(手話通訳・要約筆記)、託児等
社協	ふれあい弁当サービスの調理及び配食、声の広報CD作り、「おもちゃ図書館」手作りおもちゃ作り、イベントの手伝い等
福祉団体	イベント等での情報保障(手話通訳・要約筆記)、託児等
学校・教育機関	点字の学習、聴覚障害の学習などの指導等

②ボランティア講座・研修会の開催

今年度も、引き続き「第6次地域福祉推進計画」に基づき、住民が参加しやすい講座の開催を目指しました。「災害ボランティア養成講座」をはじめ、開催日時の設定を工夫し、町内事業所へポスターやチラシ配布などのPR活動を行いました。

また、地域住民の方々に社協の活動を知って頂くことを目的に、講座の様子を社協だより、ホームページに掲載し周知に努めました。

◆サマーボランティアスクール2015

中・高校生、大学生を対象に、夏休み期間に福祉体験活動を中心に福祉への関

心を高めるとともに、ボランティア活動の参加の契機となることを目的として平成4年度より開催しています。

開催日：平成27年7月18日(土)～8月31日(月) 延べ日数：38日

場 所：総合福祉センター・天河草子ほか

内 容：介護保険サービス(デイサービス・グループホーム)・障害者福祉サービス(多機能型事業所「希望の家すばる」)・ふれあい弁当作りの活動のほか、ボランティアグループの協力のもと音訳・点訳・要約筆記・託児等の体験などの活動の場を設けました。今年度は、小地域福祉活動にも受け入れに協力頂きました。

参加者：14名 延べ：27名(昨年度 26名、延べ：54名)

◆点訳ボランティア入門講座

視覚障がい者のための情報保障のひとつである点字について広く町民の方々に知って頂くとともに、福祉活動への関心を深めていただき、視覚障がい者への情報提供の充実と社会参加を支援することを目的に、点訳ボランティア入門講座を実施しました。



点訳ボランティア講座の様子

開催日：平成27年9月16日(水)～平成28年3月2日(水)

第1・3(水) 13:00～15:00 全12回

場 所：総合福祉センター 研修室

内 容：点字の基礎知識・点訳の基本技術等

参加者：8名 延べ69名(内、修了者は5名)

◆ちびっこウィンターボランティア講座

小学1年から6年の小学生を対象に、障がいのある方やボランティア等とのふれあいを通じて、子ども達が積極的に福祉やボランティアへの関心を持つ契機となることを目的に開催しました。今年度も、保護者同伴で1・2年生の小学生も対象としました。



ちびっこウィンターボランティア講座の様子

開催日：平成27年12月19日(土) 10:00～12:00

場 所：総合福祉センター 研修室

内 容：「視覚障害について学ぼう！」

講 師：北村 多恵氏

参加者：7名 (昨年度 16名)

◆災害ボランティア養成講座

災害に関する学習を通じて、猪名川町や各地で災害が起こった時に活動するボランティアを養成することを目的に実施しました。第1回目は防災・減災・復興のためにこれから私たちは何ができるのか、第2回目は猪名川町で想定される災害を知り、その時どう動くかを考えました。



災害ボランティア養成講座の様子

開催日：平成28年3月5日(土)・12日(土) 10:00~12:00

場所：総合福祉センター 研修室

内容：第1回目「災害時でも命を守り抜く、防災のススメ！」

講師 NPO法人さくらネット 河田 のどか氏

第2回目「考えよう！猪名川町の災害」

講師 猪名川町総務課 危機管理室 肥爪 淳氏

参加者：21名 延べ 35名

③ボランティアの啓発等

◆ボランティアの啓発

「健康福祉まつり」にて、ボランティア活動センターのパネル紹介等でPR・啓発活動を行いました。ボランティアグループも、ボランティア体験などを中心に活動のPRを実施し、ボランティアに対する関心を高める機会となりました。

グループ名	内容
音訳ボランティア「リヴィエール」	録音体験
手話サークル「マジック」	手話体験
点訳ボランティア「てんてまり」	点字体験
要約筆記ボランティア「ゆきんこ」	パソコン要約筆記体験・字幕付DVD映画会
パソコンボランティア「夢ネット」	パソコンを利用したオリジナルカード作り
傾聴ボランティア「みみい〜な」	傾聴サロン・人形劇

◆啓発用冊子等の作成・配布

ボランティアに関心のある方や初めて活動をする方に、わかりやすい啓発リーフレット「いっしょにやろうボランティア」や、ボランティア・福祉学習の詳細を記載した啓発冊子「レッツトライボランティア」を配布しました。冊子は学校での福祉学習体験や地域住民にも配布し、啓発に努めました。また、「ふれあい伝言板」を活用しての情報発信を実施しました。

4) 障害者（児）福祉活動

① ふれあい交流活動

◆ ふれあいバスツアーの開催

今年度も、実行委員会で話し合いながら、行き先や企画を考え、チラシやしおり作りも各種障害者団体の協力を得て作成しました。ツアー当日は参加者とボランティアが交流しながら、楽しむ様子が見られました。（本事業は、善意銀行の指定払い出しにより実施しています。）

開催日：平成 27 年 5 月 30 日（土）

場 所：あわじ花さじき&たこせんべいの里

参加者：37 名



◆ 障害者ふれあい運動会の開催

障がいのある方とその家族、ボランティアが共にスポーツ・レクリエーションを楽しみながら、仲間や生きがいをづくりとして、「障がい」の壁を乗り越え、お互い理解を深め合い、社会参加の促進と生活の豊かさを広げることを目的として、毎年 6 月に開催しています。より多くの方に参加していただけるように、プログラムや当日の進行内容を工夫することで、昨年より参加者が増えました。



協力団体・機関：猪名川町手をつなぐ育成会・猪名川町身体障害者父母の会・猪名川町ろうあ協会・猪名川園・猪名川体操協会・要約筆記ボランティアゆきんこ・手話サークルマジック・猪名川町民生委員・児童委員協議会・猪名川町福祉委員会・猪名川町福祉課

開催日：平成 27 年 6 月 27 日（土）

場 所：総合福祉センター コミュニティドーム

参加者：120 名

内 容：①元気にダンス！ダンス！ ②伝統の一戦！（ボール送り）
③魚つりゲーム ④応援合戦！・妖怪体操第一！
⑤借り物でパン GET！ ⑥パラバルーンで大空へ
⑦交流会

②地域啓発活動事業

◆イナワイ（地域交流活動）

平成 24 年度より、障がいのある方との交流や地域における障害者福祉等への啓発活動を目的として、定例会を開催し、当事者のエンパワメントを大切にしながら、今年度も啓発活動等に取り組みました。今年は、“農”を通じて活動し、さつまいも等を植え、収穫した野菜を使って“カレーパーティー”を実施し、地域の方とも交流しました。



畑での活動の様子

③障害者自立支援

◆障害者多機能型事業所「希望の家すばる」

今年度は、各事業における収支バランスの見直しや新規職員の採用など利用者支援体制の強化、将来に向け取り組みました。

◎就労継続支援B型事業

今年度は、昨年度に引き続き、地域のニーズに対応すべく定員数をさらに増やし、20名としました。新たな利用者の受入も行い、試行利用や実習の受入にも力を入れました。作業プログラムにおいて、コミュニティ room さららでの販売の強化を目指し、メニューの一新を行い、新しい地域の方と結びつけることができました。また、新たなボランティアにも協力していただき、地域交流への強化を図り、内職作業では新しい仕事を請け負うことができたことで、活動の幅が広がりました。



○就労継続支援B型事業の利用状況

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
27年度	延利用者数	350	300	356	338	341	328	350	328	321	282	316	328	3,938名
	実利用者数	18	18	18	18	18	19	19	19	19	18	18	18	
26年度	延利用者数	307	277	302	313	284	283	315	259	276	251	255	284	3,406名
	実利用者数	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	14	

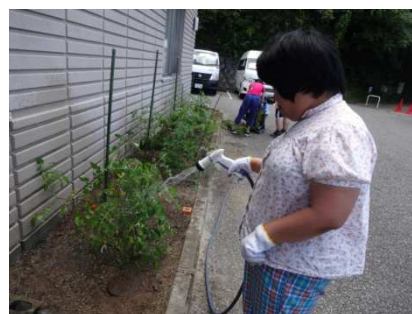
○就労継続支援B型事業の工賃支給状況

(単位：円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
27年度	工賃支給額	115,200	89,900	84,200	131,600	86,200	85,300	109,300
	平均個人支給額	6,400	4,994	4,678	7,311	4,537	4,489	5,753
26年度	工賃支給額	72,200	86,900	92,500	98,400	93,100	87,200	92,800
	平均個人支給額	4,813	5,793	6,167	6,560	6,207	5,813	6,187
		11月	12月	1月	2月	3月	計	
27年度	工賃支給額	161,800	154,500	144,500	100,300	97,560	1,360,360	
	平均個人支給額	8,516	8,132	8,028	5,572	5,420	6,152	
26年度	工賃支給額	133,900	99,100	84,500	79,900	137,512	1,158,012	
	平均個人支給額	8,927	6,607	6,036	5,707	9,822	6,553	

◎生活介護事業

自立した日常生活または社会生活を営むことができるようになることを目的に、日中活動・身体機能維持向上・日常生活上必要な生活支援等を行いました。音楽のレクリエーションを通じて地域のボランティアとの交流や園芸活動を行うとともに、引き続き利用者が主体となり会議を開催し、外出や調理活動等を通して、生活スキル獲得・向上について取り組みました。また、地域のニーズに対応すべく定員数をさらに増やし、20名としました。



○生活介護事業利用状況

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	延利用者数	301	271	323	296	281	280	301	279	276	264	314	347	3,533
	実利用者数	18	18	18	18	17	17	17	17	17	18	18	18	
26年度	延利用者数	229	221	236	247	216	223	236	198	218	225	230	261	2,740
	実利用者数	13	13	13	13	13	13	13	13	14	15	15	15	

◆障害者日中一時支援事業

家族の都合や学生の春・夏・冬休み等の長期休み時の利用が目立ちました。今年度は、新規利用はないものの、1人あたりの利用数が増え延べ人数も増えていきます。

○日中一時支援利用状況

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
27年度	実利用者数	7	7	9	8	8	5	6	5	5	2	4	5	71
	利用延人数	21	22	26	23	25	18	26	18	16	10	18	16	239
26年度	実利用者数	9	7	6	8	10	7	6	5	7	4	5	8	82
	利用延人数	23	20	18	25	31	24	18	13	14	7	16	20	229

◆移動支援事業

今年度は、計画相談支援を通しての新規利用者やしばらく利用休止されていた方の再開により、実利用者数及び延利用日数とも前年度対比で大幅な増となりました。

○移動支援事業利用状況

(単位：人・日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	実利用者数	9	7	7	8	9	7	11	10	8	8	9	7	100
	延利用日数	22	15	21	22	23	18	30	23	24	21	25	27	271
26年度	実利用者数	8	5	7	7	6	7	8	10	6	7	6	7	84
	延利用者数	15	11	19	23	19	17	21	24	16	17	21	20	223

◆地域活動支援センター

今年度は、基本的な生活のリズムや基礎体力をつけることを目的の利用者が多く、そのため、バランスボールやWiiスポーツを取り入れ、健康プログラムの充実を図りました。利用状況は前年度と比較すると、延べ利用者数が減少しました。長期入院、転居、通所されながらアルバイトを開始された利用者が増えたことが原因と考えられます。

○地域活動支援センター事業利用状況

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	延利用者数	110	65	91	103	102	107	113	91	78	57	59	85	1,061
	実利用者数	11	10	9	13	13	13	15	14	14	11	11	12	
26年度	延利用者数	94	96	105	136	126	117	109	77	87	84	95	116	1,242
	実利用者数	12	12	12	13	14	15	13	8	10	11	13	14	

◆障害者ホームヘルパー事業

障がい（身体・知的・精神）があるため、日常生活を営むのに支障がある障がいの者の自宅にヘルパーが訪問し、身体介護（身の回りの支援、食事、入浴、排泄等の介助・介護）、家事援助（調理、洗濯、掃除、買物等の必要な家事）、相談・助言・その他（生活・介護に関する相談、外出時の付き添い）サービスを実施しました。

今年度は、家事援助・身体介護ともに、利用者の増加により利用が大幅に増加しました。特に精神障がいの方の利用が大幅に増えています。事業の実施にあたり、家族、相談支援センターや行政等、関係機関と連携を図りながら、個々の障がいに応じた細やかな支援や、他事業所では対応困難なケースなどを率先して受け入れるよう努めました。

○障害者ホームヘルパー利用実績

(単位：人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
27年度	利用実人員	6	7	7	7	8	8	10	9	9	9	11	9	100	5,430 千円
	延べ利用件数	118	116	123	128	149	131	133	127	135	130	138	164	1,592	
26年度	利用実人員	7	8	9	9	7	7	9	8	7	7	7	7	92	4,989 千円
	延べ利用件数	105	112	117	137	109	116	153	110	122	115	105	109	1,410	

◆障害者地域生活支援事業・相談支援事業

障害者総合支援法の障害者地域生活支援事業における相談支援事業を町より受託しています。障がいのある方やその家族が安心して暮らしていけるよう支援を実施しました。基本相談の延べ件数は700件であり、昨年度より347件の減少となっていますが、就労に関する相談は80件増加しています。基本相談の件数が減少した理由については、これまで基本相談で支援してきたものが計画相談支援に移行したことによるもので、障害者相談支援センターの延べ相談件数は807件の増加となりました。

○障害種別相談等延べ件数

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	身体	5	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	10
	知的	11	14	13	16	17	15	23	18	20	17	15	11	190
	精神	23	18	11	19	25	31	21	14	18	20	10	9	219
	重症心身	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発達	17	17	23	33	26	18	9	20	9	14	15	9	210
	高次能	4	1	3	3	3	7	3	1	4	5	2	4	40
	その他	4	4	3	8	0	7	3	1	0	0	0	1	31
合計		64	55	53	79	72	81	59	54	51	56	42	34	700
26年度	身体	26	34	32	31	21	8	5	5	10	3	5	9	189
	知的	17	23	27	28	16	10	15	9	20	6	9	14	194
	精神	44	38	31	46	33	42	37	23	15	26	27	23	385
	重症心身	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発達	18	23	26	20	9	8	12	27	25	18	12	23	221
	高次能	0	4	0	4	1	0	0	0	0	0	1	6	16
	その他	0	0	0	0	8	1	6	8	0	2	5	12	42
合計		105	122	116	129	88	69	75	72	70	55	59	87	1,047

◆計画相談支援実績

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
27年度	利用実人数	29	36	31	29	8	15	9	39	92	14	19	18	339	6,304千円 (延べ2,464)
26年度	利用実人員	9	5	7	16	15	13	3	7	13	31	24	22	165	2,958千円 (延べ1,310)

◆声の広報等発行事業

文字による情報入手の困難な視覚障がいのある方のために、音訳ボランティア「リヴィエール」、点訳ボランティア「てんてまり」の協力を得て、町広報・社協だより・議会だより・人権いながわ等を定期的に音訳・点訳への編集・発行しています。また、新たに、選挙公報の音訳・点訳発行も行いました。今年度も引き続き、福祉課の協力を得て町内の視覚障がいのある方にチラシを案内したり、眼科にポスター掲示の協力を得るなど、事業のPRに努めました。また、CDや点訳物は図書館や福祉課等にも配布し、利用者数は3名（延べ78名）となりました。（昨年度は、3名 延べ37名）



◆障害児療育支援事業

町からの受託事業として言語聴覚訓練、理学療法、作業療法（作業療法は週2日）を週4日実施しました。今年度は実利用者が63名、延べ利用者数656名の利用がありました。（昨年度は、実利用者51名 延べ利用者631名）

5) 高齢者福祉活動

①介護保険事業

◆訪問介護事業（ホームヘルパー）

ホームヘルパーが自宅へ訪問し、食事・入浴・排泄等の支援をする身体介護、掃除、洗濯、調理等の生活援助を行いました。

今年度は、夏季以降に利用者の減少や職員の退職等に伴う人材確保が難しく、受け入れ人数の低迷時期があり、収入額は昨年度に比べると大幅な減収となりました。その中、介護拒否などによる困難ケースや他事業所での受け入れが難しい利用者などの積極的な受け入れを行いました。また、サービスの質の向上に努めました。

○訪問介護事業利用件数

(単位：人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
27年度	実人員利用	62	60	58	62	57	55	56	56	58	57	54	59	694	20,565 千円
	延べ利用件数	551	520	539	547	481	468	494	445	435	407	413	486	5,786	
26年度	実人員利用	64	66	66	64	63	62	65	60	63	62	64	64	763	23,214 千円
	延べ利用件数	633	646	563	592	528	557	573	505	532	534	545	607	6,815	

◆通所介護事業（高齢者デイサービス）

入浴や食事等の支援を日帰り提供しています。今年度は10月以降より体調不良やショートステイ利用による長期欠席者が急増した影響で昨年度に比べると大幅な減収となりました。また、新たな人材の確保が難しく、積極的な利用者の受入が難しい時期もありました。次年度に向け新たな体制づくりに取り組み、利用者の方に満足して頂けるような環境づくりに努めます。

○通所介護事業利用件数

(単位：人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
27年度	利用実人員	88	87	84	83	83	86	88	86	87	82	76	76	1,006	72,505 千円
	延べ利用件数	759	798	730	747	709	768	793	720	668	637	671	723	8,723	
26年度	利用実人員	89	86	86	88	87	88	91	91	93	90	89	88	1,066	77,043 千円
	延べ利用件数	753	779	701	784	693	774	800	799	761	729	704	733	9,010	

◆認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム）

認知症高齢者に対し、その有する心身の能力に応じて共同生活住居で自立した日常生活を営むことができるよう、家庭的な環境のもとで入浴・排泄・食事などの支援及び機能訓練を提供しています。今年度は、入居者の入院、介護度の変更による利用料の減額となりました。なお平成28年3月31日現在の入居者は、要介護1の方が1名、要介護2の方が4名、要介護3の方が1名の計6名の内1名の方が入院されています。

○認知症対応型共同生活介護事業利用実績

(単位：人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
27年度	利用実人員	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	24,895 千円
	延べ利用件数	173	186	180	186	186	180	186	180	186	186	174	167	2,170	
26年度	利用実人員	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	25,481 千円
	延べ利用件数	180	182	158	186	186	180	186	170	164	164	167	186	2,109	

◆居宅介護支援事業

介護サービスの利用にあたって、ケアマネジャー（介護支援専門員）が利用者の希望に添った介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、介護を必要とする方やその家族の相談に応じています。24 時間相談できる窓口（電話）を開設し、主任ケアマネジャーを配置することでより専門的な相談が可能となり、安心した在宅生活を支援しました。今年度は 7 月に急な職員の退職による常勤換算の減少がある中でも、支援困難ケースをはじめとした新規ケースの受け入れの継続を行いました。若干の収入減となりました。

○居宅介護支援事業利用実績

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
27年度	利用実人員	127	125	128	125	117	116	118	115	110	110	103	108	1,402	18,486 千円
26年度	利用実人員	106	109	111	114	118	124	128	130	132	124	122	120	1,438	18,678 千円

②介護予防・生活支援事業

◆軽度生活援助事業

日常生活で手助けを必要とする高齢者、障がい者を対象に社会とのつながりを持ちながら安心して生活が送れるよう、外出時の援助、食事・食材確保などの軽度の援助サービスを提供しました。また、介護保険制度の支給限度額超過などでサービスが利用できないケースに対して、この事業を利用していただき支援を実施しました。

この事業は、協力会員へ登録いただいた方に支援をお願いしていますが、今年度は登録者数が減少し、実績自体も大幅に減少しました。そのため、町や社協の広報等で登録者の募集を実施しました。

○軽度生活援助事業利用件数

(単位:人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
27年度	利用実人員	14	13	14	16	10	11	11	14	19	9	10	8	149	1,047 千円
	延べ利用件数	68	45	69	69	49	48	40	40	54	25	25	34	545	
26年度	利用実人員	18	17	12	17	16	16	14	15	20	12	13	14	184	1,661 千円
	延べ利用件数	71	66	62	81	68	80	86	76	77	62	63	79	871	

③地域支援事業

○高齢者食生活改善事業

地域支援事業の一環として、高齢者の食生活改善を支援するため、管理栄養士による相談活動や食事指導を行いました。今年度は体制変更に伴う人員不足の影響はありましたが、個別相談、集団指導等、依頼には全て対応を行いました。しかし、積極的な広報は行えなかったため、栄養・食事指導の件数は減少となりました。

年1回実施している健康づくり講演会では、「アブラとの上手な付き合い方を知って血管を若々しく保とう」のテーマを取り上げたところ、34名と過去最高の参加者数となり、テーマや告知、開催日を工夫することで参加者増につながりました。

食生活改善事業での相談・指導及び講習会での延べ件数は89件、241名となりました。(昨年度 延べ件数は205件、535名)

○認知症・閉じこもり・うつ予防教室「笑話くらぶ」

認知症や閉じこもり、うつになるおそれのある二次予防対象高齢者（介護保険認定を受けていない方）に、ゲームや脳トレなどのレクリエーション、回想法など、他者交流を含め、楽しく過ごし認知症や閉じこもり、うつなどを予防することを目的とし月1回の教室を開催しました。今年度は参加希望者が多かったため、2グループに分けて全12回(1グループ6回ずつ)実施し、参加人数は30名、延べ168名でした。



脳トレゲームの様子



回想法の様子

○高齢者健康長寿体操モデル事業

平成26年10月より、介護保険改正および総合事業への移行を踏まえて、地域における体操教室が展開されています。昨年度は若葉（猪名川小学校区まちづくり協議会）、旭ヶ丘（大島小学校区まちづくり協議会）、松尾台小学校区まちづくり協議会の3地区で3ヶ月間の健康長寿体操モデル事業が実施されました。

今年度も新たに、伏見台、猪名川台、パークタウン東の3地区がモデル事業を実施し、いずれの地区もモデル事業終了後も自主教室として継続実施されています。地域包括支援センターは、地域との打合せとモデル事業の最初と最後の身体測定、アンケート調査、教室運営について随時相談で関わりました。



パークタウン東のモデル事業の様子



猪名川台のモデル事業の様子

◆地域包括支援センターの運営

町の受託を受け、高齢者が自立して生活できるよう、さまざまな支援を行う事業で、総合相談（権利擁護）、介護予防ケアマネジメント、介護支援専門員（ケアマネジャー）支援などの事業を実施しました。今年度も、複合的な課題（高齢者と障がい者の複合世帯、生活困窮とゴミ問題等）を抱える困難ケースの相談や民生委員・児童委員やサービス事業者、病院のソーシャルワーカーからの相談が増えるなど、多岐に渡る機関との連携内容が徐々に増えています。また、困難なケースについては町との連携を図りながら支援を行っていくことが重要となりました。

総合相談（介護予防プラン作成を行わない相談）件数は、延べ1,157件、相談実人数768名でした。また、介護予防プランの作成は今年3月時点で305件となりました（昨年3月時点では307件）。他に、老人会等からの依頼を受けて、高齢者福祉や介護予防をテーマに出前講座も行いました。

○出前講座テーマ・件数及び参加人数

	日	テーマ	対象・参加人数等
1	4/15	認知症予防、脳トレ	旭ヶ丘体操クラブ 13名
2	5/12	猪名川町の高齢者の今、これから	民生委員児童委員協議会定例会 62名
3	5/21	脳トレ	旭ヶ丘体操クラブ 16名
4	6/ 2	認知症について	六瀬地区民生委員・児童委員会 14名
5	6/ 7	脱水にならない！ 健口体操、脳トレ体操	杉生老人会 23名
6	6/ 8	地域包括支援センターについて	紫合老人会 30名
7	6/10	脳トレ！（健康寿命を延ばすため）	パークタウン東むつみ会 43名
8	6/17	脳トレ問題集、とんちクイズ、 脳トレ体操	銀山老人会 5名
9	6/18	脱水について、脳トレ	旭ヶ丘体操クラブ 16名
10	6/23	猪名川町の高齢者の今、これから	中谷地区福祉交流会 23名
11	7/10	元気に歳を重ねましょう、脳トレ体操、 座位でのストレッチ・筋トレ	松尾台老人会みどり会 21名
12	7/10	血圧測定、元気に歳を重ねましょう、 脳トレ体操	西畑老人会 12名

13	7/11	つつじが丘小校区の今、これから	つつじが丘小校区民生委員・児童委員、福祉委員 交流会 19名
14	7/12	トシなんかには負けないぞ！ 脳トレ体操	白金県住プチふれあいサロン 7名
15	7/15	脱水にならないために、 脳トレ体操	若葉体操教室 21名
16	7/16	脳トレ	旭ヶ丘体操クラブ 21名
17	8/ 9	介護保険制度について 笑話くらぶの紹介	万善荘自治会 7名
18	8/20	脳トレ	旭ヶ丘体操クラブ 17名
19	9/ 8	認知症予防と脳トレ	白金プラチナクラブさわやか会 10名
20	9/10	血圧測定、認知症ってなあに？ 脳トレ体操	西畑老人会 11名
21	9/17	脳トレ	旭ヶ丘体操クラブ 16名
22	9/20	介護保険について	白金県住プチふれあいサロン 9名
23	9/30	ここが変わった！介護保険あれこれ	老人クラブ連合会女性部会 10名
24	10/22	脳トレ	旭ヶ丘体操クラブ 17名
25	10/29	ここが変わった！介護保険あれこれ	東山クラブ 16名
26	10/30	冬を元気に乗り越えましょう 脳トレ体操	銀山老人会 5名
27	12/17	脳トレ	旭ヶ丘体操クラブ 18名
28	1/17	冬を上手に乗り越えましょう	白金県住 プチふれあいサロン 6名
29	3/17	介護保険あれこれ	白金ほっとサロン絆 26名
30	3/18	高齢期に多い疾患～生活習慣病～	若葉熟年クラブ 32名
31	3/19	高齢期に多い疾患～生活習慣病～、 尿トラブル	白金県住プチふれあいサロン 7名
合 計			553名



紫合老人会 出前講座



東山クラブ 出前講座



若葉むつみ会 出前講座



白金県営住宅サロン 出前講座

◆家族介護支援事業

○家族介護教室

開催日：平成 28 年 2 月 19 日(金)

場 所：総合福祉センター研修室

参加者：12 名

内 容：「介護者だって笑顔でいたい
～ほっこり庵～届ける介護
者の思い」

講 師：NPO法人スマイルウェイ「ほっこり庵」

代表 西山 良孝 氏



○介護者おしゃべり会

認知症の方を介護している家族の方が、気軽におしゃべりする場づくり。認知症カフェや家族会を開催するための模索。そのため平成 27 年 11 月 11 日より、2 ヶ月に 1 回、10 時～12 時で行なっています。11 月 8 名参加、1 月 4 名参加、3 月 6 名参加。2 回目までは天河草子で行ないました。3 月からはゆうあいセンターで行なっています。辛さを吐き出し合う、知恵を交換し合う、元気を出し合う、そんな場の効果を得ています。

◆生活支援体制整備事業

町からの委託を受け、今年度の介護保険制度改正により始まった介護予防・日常生活支援総合事業において、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とする事業として新設されました。この事業には、生活支援コーディネーターが配置され、いつまでも安心して暮らし続けることができる地域づくりの実現に向けて、町や地域包括支援センター等、地域の多様な機関・団体と連携し、地域での介護予防・生活支援サービスの充実のための、ネットワークづくりや住民同士の支えあいの活動支援、開発を目指す事業となっています。

今年度は、地域ごとの現状を把握するため、自治会や地区福祉委員、老人会で実施

されているサロンや教室等への視察、地区毎の福祉活動等の情報収集を行いました。

また、猪名川町自治会長連絡協議会や包括の出前講座にも参加し、総合事業の周知にも努めました。

○認知症高齢者見守り支援事業

『やすらぎ支援員』（認知症の基礎知識・接遇研修を受けた方）が、認知症高齢者の自宅を訪問し、見守りや話し相手を通じて『なじみの関係』を作ることで、その人の心身の安定を図り、すこやかな在宅（住み慣れた地域で）生活が送れるように支援するとともに、認知症高齢者を介護する家族の介護負担の軽減を図ることを目的としています。

今年度に入り利用頻度の多い利用者の申込があったため、利用時間が昨年度と比べると、増加となりました。今年度の利用者は5名、利用延べ時間 175.5 時間です。（昨年度 利用者2名 利用延べ時間 123 時間）

○認知症サポーター養成講座

平成17年度より厚生労働省が推進する「認知症サポーター100万人キャラバン」の一環で、猪名川町でも平成20年度から地域包括支援センターが事務局となり、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。認知症への正しい理解、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を増やし、認知症になっても安心して暮せるまちを地域住民の手によって作っていくことを目指す、全国的な取り組みです。

今年度は、昨年度に引き続き若い世代への普及・啓発をということで、全小中学校での開催を目標に校長会での説明も行き、昨年度の猪名高、楊津小に続き、初めて六瀬中、大島小で開催できました。また、役場に加え、能勢電鉄、川西警察への講座を、川西市、豊能町、能勢町と合同企画運営で開催することができました。7月には、キャラバンメイト養成研修を猪名川町主催で行い51名登録が増え、72名のキャラバンメイトとなりました。校区ごとにグループ化を行い、代表者を決めました。徘徊対応捜索訓練については、中谷地区で行うことができました。

・ 認知症サポーター養成講座開催数及び参加人数

	開催回数	サポーター数
27年度	18回	387名
26年度	14回	458名
25年度	3回	62名
24年度	8回	211名
23年度	5回	99名
22年度	4回	73名
21年度	10回	540名

20 年度	4 回	128 名
-------	-----	-------



六瀬中学校 2 年生認知症サポーター講座



能勢電鉄認知症サポーター講座

◆地域ふれあい事業

○「ふれあいの場」運営補助事業

町の補助・支援を得る中、地域の高齢者が孤立することなく、安心して暮らせ、世代を超えた地域の交流の場づくりを進める上で、地域住民のつながりの再構築の一助となることを目的として、「ふれあいの場」運営補助事業を平成 16 年度より実施しています。今年度は、若葉自治会より申請があり、運営助成を行いました。

○高齢者健康促進事業の助成

町内の高齢者のふれあいと健康促進を目的として、町老人クラブ連合会主催の「グラウンドゴルフ大会」（今年 10 月 22 日実施、約 220 名の参加）に運営助成をしました。なお、助成は共同募金地域配分金を財源としています。

6) 福祉教育活動

①福祉教育協力校の指定

急速に進む少子高齢社会を担う世代の育成として、誰もが地域社会の一員として互いに支えあえるような豊かな心を育む教育の必要性が求められています。昭和 59 年度より毎年町内の小中学校を福祉教育協力校として町内全ての小学校 6 校と中学校 3 校を指定し、校区内の高齢者との交流やボランティア体験等の福祉体験を積極的に取り組みました。また、各小中学校への福祉教育助成金は共同募金地域配分金を財源としています。

②「福祉学習を考える集い」の開催

学校での福祉学習では、自ら学び考え、「生きる力」を育むことを目的に地域のニーズに応じて様々な形で実践されています。本会では今後の福祉学習の進め方、課題についての共有化と課題解決に向けた取り組みを進めていくことを目的として、「福祉学習を考える集い」を開催しました。

開催日：平成 27 年 8 月 21 日(金) 14:00~16:00

場 所：総合福祉センター 研修室
 参加者：小・中学校教員及び学校関係者
 教育委員会等 計 8 名
 講 演：「学校と地域・家庭をつなぐ福祉教育」
 ～学校と地域を結ぶコーディネーター
 教員に求められる役割とは～
 講 師：大阪教育大学 新崎 国広 氏



③福祉体験学習・講演会等の開催

各学校にて、地域の方や施設の方との交流を行うと共に、点字や手話等の体験を通して福祉体験学習を行いました。また、下記のとおり、福祉講演会を行いました。

学校名	開催月	内 容	講 師	対象者
猪名川小学校	10月	点字の体験とお話	点訳ボランティア 「てんてまり」	4年生
楊津小学校	6月	福祉講演会 「視覚障害についてのお話と ミニコンサート」	北村多恵氏	全校生徒
	9月	認知症キッズサポーター養成 講座	キャラバンメイト	4年生
	10月	高齢者疑似体験	社会福祉協議会職員	4年生
	11月	点字の体験とお話	点訳ボランティア 「てんてまり」	4年生
	12月	聴覚障がい者のお話と手話	手話サークル「マジック」	4年生
	12月	車いす体験・グループホームと の交流	社会福祉協議会職員	4年生
大島小学校	1月	福祉講演会「介助犬についてのお話」	木村佳友氏 & 介助犬 デイジー	全校生徒
	2月	認知症キッズサポーター養成 講座	キャラバンメイト	5年生
	2月	車いす体験・アイマスク体験	社会福祉協議会職員	5年生
松尾台小学校	10月	点字の体験とお話	点訳ボランティア 「てんてまり」	4年生
	11月	福祉講演会 「友と育つ、共に育つ ～心を 音にのせて～」(中谷中と合同 開催)	多田千景氏、多田駿介 とアンサンブルピア チェーレ	5・6年生

	2月	福祉講演会 「全盲の方のお話と、ブラインドサッカー体験」	パラリンピックメダリスト 齊藤晃司氏	1～4年生
白金小学校	10月	点字体験学習 「全盲の方のお話と、点字の体験」	三上洋氏 点訳ボランティア	4年生
	3月	福祉講演会「全盲の方のお話と、ブラインドサッカー体験」	齊藤晃司氏	4年生
つつじが丘小学校	10月（1日に2回講演）	福祉講演会 「あきらめないところ」	パラリンピック金メダリスト 加藤作子氏	全校生徒
中谷中学校	11月	福祉教育講演会（地域合同講演会） 「友と育つ、共に育つ ～心を音にのせて～」	多田千景氏、多田駿介とアンサンブルピアチェーレ	全校生徒 保護者・地域住民
六瀬中学校	10月	車いす体験・高齢者疑似体験	社会福祉協議会職員	1年生
	10月	福祉講演会とミニコンサート 「つながる心」	北村多恵氏	全校生徒
	11月	認知症サポーター養成講座	キャラバンメイト	2年生
	11月	聴覚障がい者のお話と手話学習	手話サークル「マジック」	3年生
猪名川中学校	2月	京都人権学習において、人権課題の一つとして福祉について学び、体験		2年生
猪名川高校	7月	認知症サポーター養成講座	キャラバンメイト	3年生
	11月	高齢者疑似体験	社会福祉協議会職員	3年生
	11月～12月	手話講座	手話サークル「マジック」	3年生

④「トライやる・ウィーク」への協力

兵庫県教育委員会では、県下の公立中学校2年生全員が、地域社会で体験活動を行う週間を設定し、学校・家庭・地域社会が一体となり体験活動を通して、中学生の心の教育を図る目的で、平成10年度より「地域に学ぶトライやる・ウィーク」が実施されています。

◆トライやる・ウィーク受け入れ状況

(単位：人)

受入期間	学校名	受入人数
5月25日～5月29日	中谷中学校	3
	六瀬中学校	2
6月8日～6月12日	猪名川中学校	4

7) 広報・啓発活動

① 広報紙等の発行

機関紙である『社協だより』を6月、10月、1月、3月の年4回（1回12,200部）発行し、全世帯に配布しました。

また、『ひょうごの福祉』を関係機関に配布すると共に、『ふれあい伝言板』（役場、図書館、六瀬住民センター、日生連絡所に設置）に福祉情報を掲示、ホームページで社協活動のPRに努めました。（共同募金の地域配分金を活用しています）

② 「健康福祉まつり」への取組み

「だれもが健康で、安心して暮らせる地域社会をめざして、住民相互の理解と交流を深める」ために、地域福祉の担い手である住民の方々に地域や社会に参加してもらうきっかけづくりになることを目的として、社協らしい視点で地域福祉の推進の啓発に取り組みました。



車いす体験とパネル展示

8) 自主財源活動

当会の財源は、町補助金・社協会費・共同募金地域配分金が主です。しかし、少子高齢社会に対応し、地域福祉・在宅福祉の新しいサービスを開発・推進するためには、多額の経費が必要となります。安定した財源確保のため、あらゆる地域福祉活動の展開の場において、本活動の必要性を訴えるとともにその啓発に努め、会費・共同募金等への理解と協力を促しました。

①社協会員会費

会員会費は、当会に対する住民の物心両面にわたる理解と協力、参加を広げていくことを目的に、昭和63年から実施し、本会会員には、平成9年度から「会員之証」を発行しています。

◆会員会費の納入状況

(単位：円)

会員の種類	会費額	27年度		26年度	
		金額	摘要	金額	摘要
一般会員	500	2,904,350	49自治会	3,311,775	49自治会
賛助会員	5,000	196,000	37事業所	248,000	52事業所
団体会員	5,000	10,000	2団体	10,000	2団体
計		3,110,350		3,569,775	

②赤い羽根共同募金活動

兵庫県共同募金会 猪名川町共同募金委員会として、赤い羽根共同募金運動を実施いたしました。本年度も、自治会・学校・法人・民生委員児童委員・職域などで多くの皆様のご協力をいただきましたが、昨年度に比べ若干減額となりました。

◆共同募金実績

目標額	実績額	達成率
2,194,000円	2,167,221円	99.22%

◆募金別実績額

(単位：円)

募金方法	金額	募金方法	金額
戸別募金	1,390,577	職域募金	295,700
街頭募金	39,054	学校募金	113,788
法人募金	310,000	その他(募金箱)	18,102
合計			2,167,221

◆社協会費と共同募金の推移

(単位：円)

年度	23	24	25	26	27
社協会費	3,076,870	3,141,112	2,904,435	3,569,775	3,110,350
共同募金	2,348,513	2,265,508	2,211,120	2,176,917	2,167,221

◆共同募金地域（B種）配分金の推移

昨年度共同募金実績に対して翌年度に共募B種配分金として交付されたもので、地域福祉活動財源となります。

(単位：円)

年度	23	24	25	26	27
共募地域（B種） 配分金	1,883,000	1,848,000	1,769,000	1,772,000	1,771,000

③歳末たすけあい運動募金活動

◆募金実績

(単位：円)

NO	区分	金額	備考
1	戸別募金	654,080	
2	街頭募金	19,388	12/1,12/5 イオン猪名川
3	募金箱	6,392	
4	預金利子	51	
5	前年度繰越金	248,440	
6	その他募金	2,700	
合計		931,051	

◆配分内訳

(単位：円・件)

NO	配分先	配分金額	見舞金	件数	備考
1	生活困窮世帯	70,000	10,000	7	相談支援等より
2	準要保護世帯（基本額）	380,000	5,000	76	教育委員会より
3	準要保護世帯（2人目以降）	174,000	3,000	58	
4	繰出金	60,000	0	0	歳末募金事務費へ繰出
5	次年度繰越金	247,051	0	0	
合計		931,051		141	

④善意銀行活動

地域の方々からの善意（金銭や物品等）を預かり、災害に見舞われた方や緊急に生活つなぎ資金が必要な方に払出すとともに、地域の福祉施設や福祉活動等に払出しを行いました。

◆平成 27 年度 善意銀行預託払出状況表

種類	預託内容	金額等	備考	払出内容	金額等	備考
金銭	一般	608,295 円	19 件	一般	435,750 円	・ 摂丹地区里親会 ・ ひょうご子ども家庭福祉財団 1 件 ・ 特定非営利活動法人フードバンク関西 1 件 ・ きょうされん大会実行委員会 1 件 ・ 緊急払出し 3 件 ・ 健康長寿体操 6 件 ・ 歳末助け合い運動配分 7 件
	指定		0 件	指定	129,196 円	・ ふれあいバスツアー
	合計	608,295 円		合計	564,946 円	
物品	福祉用具	6 件	・ 車イス 3 件 ・ ポータブルトイレ 2 件 ・ 歩行器 1 件	福祉用具	5 件	町内福祉施設などへ払出し
	その他	27 件	・ 紙おむつ、パッド ・ タオル ・ 食器棚・靴箱 ・ 制服 ・ パーティーグッズ ・ ふき取り布 ・ 栄養ドリンク ・ 布団、衣類、洗剤 など	福祉用品 その他	25 件	
	合計	33 件		合計	30 件	

9) 団体事務局の運営

本会では、次の福祉 8 団体の事務局を担当し、諸活動に協力しました。

- ①老人クラブ連合会 ⑤身体障害者父母の会 (セルフヘルプグループ)
 ②生甲斐相談会 ⑥手をつなぐ育成会 (")
 ③遺族会 ⑦こころ猪名川家族会 (")
 ④英霊にこたえる会 ⑧民生委員児童委員協議会

10) 総合福祉センター管理運営等

総合福祉センターでは、高齢者等の生きがい・健康活動として各種の教室を開催し、広く利用の促進を図りました。また、町から総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、同センターの施設利用や維持管理の業務を行い、その利用状況及び改修工事の状況等については、次のとおりとなります。

◆総合福祉センターいきいき教室実施一覧表

教室名	実施時期	実施回数	参加者数
リズム&ストレッチ教室	5月～9月	10回	20名
初級水泳教室	5月～9月	10回	13名
水中体操教室	5月～7月	10回	13名
エコクラフト教室	5月～7月	6回	9名
楽しく歌う♪昭和の愛唱歌教室	5月～7月	6回	25名
リズム&ストレッチ教室	10月～3月	10回	20名
初級水泳教室	10月～3月	10回	15名
水中体操教室	10月～3月	10回	15名
編み物教室	10月～1月	7回	9名
かざら工芸教室	11月	3回	10名
計	82回		149名 (延べ1,055名)

◆総合福祉センター施設の利用状況一覧表

(単位：件・人)

		一般浴室	室内プール	教養娯楽室	研修室	ドーム
27年度	件数			332	197	1,330
	人数	48,586	4,531	4,640	2,856	10,874
26年度	件数			355	207	1,280
	人数	48,835	4,704	4,915	2,948	10,076

◆総合福祉センターの施設修繕一覧表

(単位：円)

実施時期	修繕工事内容	金額
4月	2階浴室漏水に伴う配管更新工事	299,200
	浴槽用環水槽電磁弁取替工事	86,400
5月	自家発電蓄電池更新工事	280,800
6月	厨房内製氷機修理	78,268

8月	1階岩風呂シャワーフック取替 プールシャワー室半自動扉調整修理	8,640 3,240
9月	1階自動血圧計修理	35,100
10月	1階泡風呂かかり湯蛇口修理	17,820
11月	地下3階出入口自動扉開閉装置修理	61,560
2月	プール空調用屋上冷温水配管漏水修理工事 プールシャワー室半自動扉修理 食堂内手洗い洗面所配管交換修理	110,000 65,880 60,000
3月	地下1階～2階階段床改修工事 渡り廊下床改修工事 1階岩風呂半自動扉修理 地下1階女子トイレ便器水洗部品交換	1,231,200 444,960 54,648 43,459
計		2,881,175

社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

◎理事 (定員 11 名)

(任期 平成 26 年 6 月 11 日～平成 28 年 6 月 10 日) ※順不同

会長	鍋谷 將
副会長	桑江 朝武
理事	佐々木 敬二
〃	中村 多一
〃	荒井 康子
〃	亀川 公昭
〃	福井 和夫
〃	村山 興治
〃	井ノ末 利幸
〃	喜多 護
常務理事	紺家 儀二

◎監事 (定員 2 名)

(任期 平成 26 年 6 月 11 日から平成 28 年 6 月 10 日)

監事	家門 正幸
監事	今村 恵子

◎評議員 (定員 23 名)

(任期 平成 26 年 5 月 1 日～平成 28 年 4 月 30 日) ※順不同

評議員	西山 宇一	評議員	水黒 健一
〃	井谷 丈志	〃	高岡 美津子
〃	戸田 絹代	〃	田中 浩太郎
〃	堀口 初恵	〃	平井 邦子
〃	田中 幸子	〃	広瀬 隆
〃	端野 久美子	〃	仲井 常雄
〃	今泉 友幸	〃	大嶋 武
〃	石井 誠	〃	板橋 汎子
〃	太田 はるよ	〃	西中 毅
〃	川西 栄治	〃	関口 捷子
〃	大下 章		
〃	荒瀬 範彦		
〃	井上 清太郎		

